

畑地かんがい用水の概要

＜大隅肝属消防本部＞

○畑地かんがい用水の使用について

火災現場に対する給水維持に緊急の必要がある場合に使用する。

○畑地かんがい用水の使用手法

畑地かんがい用水を一旦、防火水槽または簡易水槽等（タンク車へ積載）に貯水し、ポンプ等により放水を行う。ただし、畑地かんがい用水の給水栓より直接ホースを使用して放水を行う場合はその限りでない。

○カップリングの配備状況

大隅肝属消防組合管内においては、土地改良区が鹿屋市と肝属町にあり、それぞれ消防水利使用協定書を締結している。

各署へ笠之原土地改良区用カップリングと肝属中部土地改良区用カップリングを配備している。

○大隅肝属消防本部において使用されているカップリング



（笠之原土地改良区用カップリング）



（肝属中部土地改良区用カップリング）

○畑地かんがい用水の給水栓



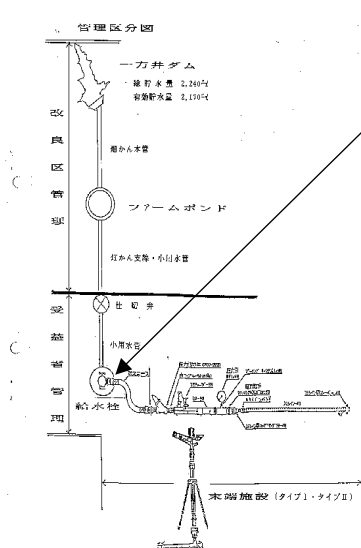
<盛岡地区広域消防組合消防本部>

○畑地かんがい用水の使用について

有事の際には消火活動に使用可能であるが、設備はあくまでも個人所有のため、使用に際しては所有者の了解が必要である。

○畑地かんがい用水の使用法

- ・ダムから給水し、配管により受益者の各畑等に給水栓（放口）を設けている。
- ・ダムからの最大落差は 140m
- ・各給水栓（放口）の放水圧力は約 4 キロ（自然落差により圧力を得ているが、そのままでは最大 14 キロになるため、所々に減圧弁を設けている。）
- ・配管の高所には空気弁、低所の末端には排泥弁を設け、泥をそのまま水路に流せるようにしている。
- ・給水栓（放口）の口径は 50 ミリで消防用の接続金具と同等品を使用しており、通常マンホール内に収まっているが、使用するときには配管が立ち上がるようになっている。このため消防用 50 ミリホースを接続することが可能である。



ホース接続部分

